令和６年度　北海道津別高等学校　学校経営シラバス

＜学校教育目標＞
1　ひたむきさ　目標を持ち、根気強く努力し、自己実現を図る力を育てる
2　優　し　さ　他を思いやる優しさと喜びを分かち合える心を育てる
3　しなやかさ　豊かな人間性を持ち、社会の変化に対応できる人間を育てる
4　自分らしさ　社会の一員として、個々の持つ良さを最大限に発揮できる意欲を育てる

〈建学の精神〉　「楢の如く」
〈校　　訓〉　「流汗求道」

＜スクール・ミッション＞
● 地域との連携・協働を通じて、地域の課題に向き合い、解決するために必要な資質・能力を身につけた生徒の育成　（確かな学力を育む学校）
● 個々の生徒の特性等に対応した学習指導及びキャリア教育を通じて、主体的な進路の選択決定をするための資質・能力を身につけた生徒の育成　（夢をかなえる学校）
● 地域の教育資源を活用した体験的・探究的な学習活動を通じ、豊かな人間性や社会性を培い、自立した社会の一員となる生徒の育成　（心豊かな生徒を育てる学校）

1　育成を目指す資質・能力に関する方針（このような生徒を育てます）
（1）目標を持ち、根気強く努力し、自己実現する人（ひたむきさ）
（2）他を思いやる優しさと、喜びを分かち合える人（優しさ）
（3）豊かな人間性を持ち、社会の変化に対応できる人（しなやかさ）
（4）社会の一員として、個々の持つ良さを最大限に発揮する意欲のある人（自分らしさ）

◎　育む資質・能力
主体的に学ぶ力　【①基礎学力②考える力③継続する力】
他者と共に生きる力【④協働する力⑤社会性⑥寛容性⑦コミュニケーション能力】
未来を切り拓く力【⑧課題解決能力⑨郷土愛⑩挑戦する力】

2　教育課程の編成・実施に関する方針（このような教育を行います）
（1）生徒の多様な進路目標を叶える基礎・基本を重視した学習活動と応用力を育む実践的・体験的学習活動の充実
（2）地域の教育資源を活用した特色ある教育課程と探究活動の充実
（3）豊かな人間性と健康で活力ある生徒の育成を目指した行事や特別活動の実施
（4）適切な教育課程の評価及び改善の実施

3　入学者の受け入れに関する方針（このような生徒を求めています）
（1）基本的な生活習慣と基礎的な学力を身につけた生徒
（2）学校行事及び生徒会活動などの学校生活を大切にする生徒
（3）将来の進路目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組む生徒

領域	重点目標	中期目標	今年度の目標			実践項目（評価の観点）	主な取り組み			
							授業	特活等	その他	具体的な行事等
教育活動	主体的に学ぶ力の育成	○学習への意欲と根気強く取り組もうとする態度の育成。 ○知識を応用したり、様々な事象を深く考える力を育む体験的学習活動の実践。 ○生徒の主体性を育てる取組の充実	○	1	基礎・基本の徹底と確かな学力の育成	各教科の授業を基盤とし、朝学習、各種コンクールの実施などにより、基礎学力の向上を図る。	○		○	・生徒の実態に応じた教育課程の編成（T-baseの活用含む） ・朝学習と漢字・計算・英単語コンクールの有機的実施 ・少人数指導、補習 ・基礎学力テスト、基礎力・実力診断テスト ・家庭学習状況調査（各考査前に実施） ・北海道高等学校学力向上実践事業（学力テスト） ・放課後講習、夏期・冬期・春期講習の実施
				2	確かな学力と考える力を育む授業実践	ICT機器やT-baseを活用した「個別最適な学び」「協働的な学び」の実践。	○			・朝学習ポータルサイトの活用 ・ICTを活用した授業の実施と授業研究 ・校内研修会および協力校との研修交流 ・授業公開週間の設定・研究授業の実施（10～11月）
						ＧＷ（ｸﾞﾙｰﾌﾞﾜｰｸ）、探究活動等による「協働的な学び」の充実。	○	○		・授業や総合的な探究の時間におけるグループ活動の実践。 ・総合的な探究の時間における自己評価の実施。
						指導と評価の一体化実現のために、観点別学習状況の評価の計画（シラバス）・実施（工夫）・検証（改善）を適切に行う。	○		○	・評価方法の検証（学習評価・生徒の自己評価）
			◎	3	主体性を育てる取組の充実	主体的に学ぶ姿勢を育むために、教材の工夫や授業改善を行う。	○		○	・ICTを用いた朝学習・家庭学習教材の提供　・授業アンケートの実施と改善 ・授業公開週間の設定・研究授業の実施（10～11月）・各種資格試験の実施
						ＨＲ活動や生徒会活動の取組（行事・委員会活動等）の活性化により、生徒自ら考え、意欲的に取り組む姿勢を育む。		○		・学校祭、体育祭　・対面式、壮行会、生徒総会、生徒会誌 ・各種地域活動（街頭清掃、夏祭り、七夕祭り、アイスキャンドル祭り、ふるさと祭りなど） ・生徒会執行部の育成　・ノーチャイムデー
						部活動や課外活動をとおして、生徒の自主性、協調性、責任感を育成する。		○	○	・各種委員会活動の活性化　・部活動の活性化 ・中学生や地域のニーズの把握による部活動編成の見直し
	他者と共に生きる力の育成	○豊かな心と活力ある生徒の育成 ○規範意識を正しく身に付け、社会性に富んだ生徒の育成 ○ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝスキルの向上と自他を尊重する態度の育成	◎	1	全校生徒一体となった活動の充実	生徒会行事や清掃活動等をとおして、積極的に他学年と交流し、コミュニケーション能力や協働する力を育成する。	○	○	○	・生徒の縦横のつながりをつくる各種活動 （生徒会行事、清掃活動、委員会活動、特別活動、部活動）
				2	自他理解を深める取組といじめ根絶に向けた取組の充実	自己理解を深めるとともに、他者への寛容性と思いやりを持ち、互いの特性を認め合う、いじめを許さない集団を育む。	○	○	○	・サポート委員会　・生徒理解調査（Hyper-QU）　・フリートーク ・全校集会・ＨＲ　・生徒指導部だよりの発行 ・いじめ防止委員会　・いじめ防止対策基本方針の策定 ・いじめ調査、いじめ対策会議
			○	3	基本的生活習慣の確立と規範意識の向上	生徒による校則の見直しなどの主体的取組により、社会的ルールを遵守する意識向上と定着化を図る。	○	○	○	・日常的な生徒指導（あいさつ、服装等） ・全校集会　・見学旅行、学校祭、体育祭等 ・各種祭典巡回指導（ＰＴＡの協力）・生徒指導連絡協議会（町、北見地区） ・ネットパトロール
	未来を切り拓く力の育成	○体系的キャリア教育の構築と探究活動の充実 ○生涯にわたる地域・社会への貢献意欲とより広い世界を知ろうとする態度の育成 ○新しいことや困難なことにもチャレンジしようとする意欲の育成	◎	1	つべつ学の内容充実と円滑な運営体制の構築	育成を目指す資質能力を明確にし、３年間を通した教科横断的プログラムを実施し、探究する意欲や課題解決能力を育む。	○		○	・体系的教科横断プログラムの実施・検証 ・生徒の自己評価システムの導入 ・北海道大学との高大連携事業 ・プロジェクト委員会の計画的実施と構成の変更
						各教科・学年・未来プロジェクト委員会の連携を図り、プログラムの円滑な計画・実施を図る。			○	
			○	2	学年段階に応じた進路指導の計画・実施	新たなキャリア学習プログラムを実施により、効果的な指導を目指す（ＬＨＲの活用）。		○	○	・コース制（進学・情報ビジネス） ・模試（進学、看護、公務員、就職）・進学講習、公務員講習 ・職業体験　・進路ガイダンス ・進学相談会、・年金セミナー、消費者生活講話
						達成目標を明確にしたキャリア学習プログラムの実施により、自己実現を目指す姿勢と意欲を育む。		○	○	・就職フェア参加　・卒業生講話 ・企業概要説明会参加 ・各種資格取得に向けた指導
				3	安全と生命を尊重する心を育む取組の充実	授業や各種講話・講座の内容充実を図り、自他の生命を大切にする心や、生涯を通じて安全な生活を送る基礎を培う。	○	○	○	・ケータイ・スマホ安全教室　・防犯教室 ・バス・自転車通学指導（自転車点検・指導）・交通安全教室、ＡＥＤ講習会 ・避難訓練（火災、地震、Ｊアラート）　・１日防災教室 ・健康相談、感冒調査、感染症予防指導 ・性教育講話　・薬物乱用防止教室　・定期健康診断
				4	挑戦する力の育成	授業や行事、部活動、進路実現や資格取得等に向けた取組をとおして、困難なことにも挑戦しようとする姿勢や力を育む。	○	○	○	・各教科における授業と課外講習　・各種検定 ・各種行事、特別活動　・キャリア学習　・探究活動
	地域に根ざした教育の実践	○学びの場を学校外に広げ、地域とともに学ぶ姿勢の育成 ○保護者・地域・大学等との協働による多様な教育活動の実践	◎	1	より積極的な広報活動の推進	学校だよりやＰＴＡだより、学校説明会に加え、様々な機会を活用した効果的なＰＲ活動を行う。	○	○	○	・ＰＴＡだよりの発行（２回）　・ＨＰを活用した情報発信
				2	保護者の学校理解を深める	ＰＴＡ活動の充実や保護者面談、保護者説明会などの実施により、教育活動の内容や生徒の成長について共有する。			○	・ＰＴＡ総会　・ＰＴＡ各種委員会　・ＰＴＡ研修会 ・保護者対象進路説明会 ・三者面談　・学級懇談　・家庭訪問
			○	3	地域の教育力の活用と連携の強化	地域との協働に積極的に取り組み、豊かな心や郷土愛、地域活性化に貢献する意欲を育む。	○	○	○	・つべつ学 ・強歩大会（つべつ紅葉マラソン） ・神輿担ぎ　・授業公開　・公設塾との連携 ・各種地域活動（街頭清掃、夏祭り、七夕祭り、アイスキャンドル祭り、ふるさと祭りなど）
				4	大学との積極的な連携	高大連携事業の充実を図る。	○		○	・北海道大学との高大連携事業 協働による「つべつ学」プログラム開発 学習成果発表会の実施　北大キャンパスでの体験学習の実施
学校運営	スクール・ミッションを実現する組織運営	○スクール・ミッション、学校経営方針の共通理解と「３つの力」「10の資質能力」を育む共通実践	◎	1	教育活動の目標と学校課題の共有	全職員による教育実践・課題解決に向けた協働体制を確立する。	○	○	○	・各種取組における「育成する資質能力」の明確化 ・定期的な情報交換・共有の実施（職員会議） ・「報告・連絡・相談」の定着 ・風通しの良い組織運営　・校内研修等を通した共通意識の醸成
				2	適切な教育課程の評価及び改善の実施	適切な学校評価（自己評価・生徒・保護者・学校関係者）をもとに、教育課程・教育活動の改善を行う。	○	○	○	・評価会議（年２回） ・授業評価 ・新一年生アンケート（年２回） ・授業アンケート　・保護者アンケート　・自己評価、学校関係者評価
			○	3	働き方改革の推進	教員個々に担当する業務内容や自身の働き方を見直すとともに、協働体制を築くことで、持続可能な業務遂行を図る。			○	・協働・創意工夫による校務の質の向上と効率化 ・定時退勤日の設定
						組織として、管理職のリーダーシップと教職員の主体的取組により、校務の効果・効率の向上、業務偏重の改善を図る。			○	・分掌・学年・各委員会・校務運営会（コアチーム）による業務改善アイデア創出 ・部活動週休日の完全実施 ・部活動の計画・複数顧問体制の検討
				4	良好な教育環境の整備と充実	校舎内外の教育環境の整備と危機管理対応の充実を図る。			○	・施設点検、防災点検　・ネットパトロール業務（毎月１回） ・危機管理マニュアル　・管内（町内）生徒指導連絡協議会
	教職員の資質向上と健康管理	○生徒を育てる力と組織力による信頼される学校づくり ○良好な教育活動、組織運営を築く教職員の心と体の健康保持	◎	1	教職員の資質向上	学校課題の解決と学校力を高めるため、個々の教科指導力・生徒指導力の向上を目指すとともに、校内研修の充実、外部研修の活用を図る。			○	・校内研修の実施　・道（局）主催の各種研修会への参加 ・分掌・学年の組織運営　・処分事例等を用いた法令遵守意識の醸成
			○	2	職員のメンタルヘルス対策の充実	健康診断・健康相談、日常的な面談の機会が確保され、定時退勤日の設定や学校閉庁日の設定等、休暇のとりやすさなどに配慮された環境をつくる。			○	・メンタルヘルスチェック ・個別面談　・健康相談 ・学校閉庁日・定時退勤日の設定（月２回）